

第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

提出日	R2.5.29
担当	健康福祉課
グループ名	健康増進グループ
記入者名	

1 事業概要		(2)事業種別 (新規・継続)	継続	(3)事業性格 (政策・一般)	政策事業
(1)事業名	健康マイレージ事業費	(5)予算・財源等の別			
(4)第5次総振での位置づけ		①会計区分	一般会計		
①基本目標	保健・医療・福祉の充実	②財源区分	県補助		
②大項目	保健・医療	③予算科目	款	4	項
③中項目	健康づくり運動の推進			1	目
④施策	健康づくり運動の推進	④予算事業名	健康マイレージ事業費		
⑤施策コード	5・2・1・0	掲載ページ	110	ページ	
(6)実施根拠		(7)総合戦略			
①事務分類(自治・受託)	自治事務	①総合戦略 (該当事業名)	無		
②根拠法令		③事業期間	開始	平成29年	4月
③事業期間	開始	平成29年	4月	から	終了
					未定
					年
					月
					まで

2 事業の目的・対象及び内容		(3)手段(内容・どのような取り組みか)	
(1)目的(何のために行うか)	埼玉県で実施している「埼玉県コバトン健康マイレージ」事業に参加することにより、楽しくウォーキングをして健康増進を図る。また、上記参加者のうち希望者には小川町健康ポイント事業に参加していただき、自らの健康に関心を持ってもらう。健康づくりを進めることで医療費の削減を図る。	埼玉県コバトン健康マイレージ事業では歩数計を使い、歩数を計測する。歩数に応じて定期的に景品の抽選にエントリーする。小川町健康ポイント事業では、健(検)診受診や運動・栄養教室等の参加により健康ポイントを付与し、一定以上のポイントが貯まった方に記念品を渡し、楽しみながら健康づくりをしてもらう。	
(2)対象(誰に対して、何に対して行うか)	埼玉県コバトン健康マイレージ事業:18歳以上であり、町内在住者。 小川町健康ポイント事業:埼玉県コバトン健康マイレージ事業参加者のうち、40歳以上の町内在住の希望者。	(4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)	
	ウォーキングや健(検)診受診、運動や栄養に関する教室の参加により、健康増進や介護予防に対する関心を持ってもらい、健康寿命の延伸を図る。		
対象数	26,469	単位	人

(5)事業を取り巻く環境(社会環境、町民ニーズ等)、団体、議会等からの要望など

少子高齢化に伴い、働く世代の減少や75歳以上の後期高齢者人口が増加している。また、1人当たりの医療費や介護給付費は増加傾向にある。町民の健康寿命延伸のために、健康に対する意識を高め、疾病予防に向けた事業を展開していく必要がある。

3 事業のコスト(実績・予算・決算)		(単位:千円)					
項目	(1)事業(内容)名称	健康マイレージ事業費					
	決算・予算年度	28年度決算	29年度決算	30年度決算	元年度決算	2年度予算	
(2)事業費内訳	報償費	0	10	10	20	40	
	需用費	0	405	400	368	410	
	役務費	0	19	72	96	139	
	委託料	0	284	476	523	638	
	負担金補助及び交付	0	180	218	294	322	
	その他	0	0	0	0	0	
	直接事業費合計	0	898	1,176	1,301	1,549	
	(3)財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
その他特定財源	0	0	96	94	37		
一般財源	0	898	1,080	1,207	1,512		
合計	0	898	1,176	1,301	1,549		
(4)補助金名							
(5)人件費							
投入職員数	0	0.4	0.4	0.4	0.4		
年間人件費	0	3,101	3,186	3,086	3,071		
(6)総事業費	0	3,999	4,362	4,387	4,620		
サービス量(件)	0	100	200	300	350		
サービス単価(単位)	0.0	40.0	21.8	14.6	13.2		
		千円/参加者1人あたり					

4 指標の検証(活動指標・成果指標) **健康マイレージ事業費**

指標名		単位	30年度決算	元年度決算	2年度予算積算	
(1) 活動指標(実施した事業の量:回数、延長、面積等)						
指標名	小川町健康ポイント事業 測定会・教室実施回数(健康福祉課主催)	目標値	回	9	8	8
		実績値	回	9	8	
		達成率	%	100	100	
	埼玉県コバトン健康マイレージ事業 参加者数	目標値	人	400	600	800
		実績値	人	398	598	
		達成率	%	99.5	99.7	
	小川町健康ポイント事業参加者数	目標値	人	110	110	120
		実績値	人	105	111	
		達成率	%	95.5	100.9	

(2) 成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度:人数、世帯数、件数、団体数、コスト指標等)						
指標名	参加者の1日の歩数	目標値	歩	9000	9000	8000
		実績値	歩	5913	6022	
		達成率	%	65.7	66.9	

(3) その他指標に現れない成果
 平成30年度の健康ポイント事業評価では、歩行速度やファンクショナルリーチ(立位のバランス能力)、HDLコレステロール、腹囲といった一部の指標に改善が見られた。また事後質問紙調査において、事業参加による体調の変化について尋ねた結果、全体として多かったのは「疲れにくくなった」(39.5%)、「よく眠れるようになった」(25.6%)であった。令和元年度の事業評価については現在分析中。

5 事業評価

(1) 項目別評価					
評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。
必要性	事業の必要性	1	1 必要性が高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	2	1 事業の実施が関係法令等で定められている 2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である 3 その他()
妥当性	実施主体の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	2	1 事業の主体が関係法令等で定められている 2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である 3 その他()
	手段の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	2	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している 2 他に有効な代替手段が見当たらない 3 その他()
効率性	コスト効率性 人員の効率性	2	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	1	1 サービス単価は減少している 2 サービス単価を維持している 3 その他()
公平性	受益者の偏り	1	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	2	1 公平に分配されている 2 おおむね公平に分配されている 3 その他()
有効性	成果の向上	2	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	2	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている 2 成果指標は、前年度より向上している 3 その他()
進捗度	事業の進捗	1	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	1	1 年度内に予定した事業は完了した 2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した 3 その他()

(2) 総合評価(上記結果を踏まえて、問題点や課題を記載してください。)
 健康教室等に参加することで、健康ポイントや記念品の獲得することを目標とし、事業に参加している方が多い。友人・知人から健康ポイント事業を紹介され申し込む方もいて、この事業が定着しつつあることが伺える。また、事業に参加したことで「一番良かった」と感じることで、「意識して歩くようになった」「友達と歩くことで知識が広がった」などの意見があった。こういった健康への意識を持ち続けてもらうために、今後も事業を継続する必要があると考える。課題としては、健康マイレージ事業に参加しているが歩数データの無い方や、健康ポイント事業に申込みはしたが健康教室等への参加歴が無い方がいることから、参加者によって事業への取組み状況にばらつきがみられる。今後は、新規参加者数の確保に加えて、継続参加者のアクティブ率向上のため、定期的な周知や呼びかけを行う。

6 事業の方向性の判断 1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合

評価主体	(1) 一次評価 (担当課長)	(2) 二次評価 (政策推進課長)	(3) 最終評価 (町長)
評価	1		
説明	歩数計を身に着けることで、運動意欲の向上につながった。参加者が継続して事業に参加できるよう事業展開が重要である。		